

生物の多様性と未来をつなぐ育種学ウェビナーシリーズ 【第5回】育種成果の社会への橋渡し ～新品種の普及と制度の課題～

開催方法: オンライン配信

主催: 日本学術会議 農学分科会・育種学分科会

気候変動や人口動態の変化、食料安全保障の課題が顕在化する中で、「育種」は安定した食料生産と社会課題の解決、そして地球環境の保全に直結する重要な領域として注目されています。本ウェビナーシリーズでは、作物・畜産・水産など多様な育種分野の第一線の専門家をお招きし、現場の最前線の課題から、人材育成・知的財産制度・社会との関わりまで、育種をめぐる多角的なテーマを掘り下げていきます。

開催日時: 令和8年6月11日(木): 12:00~13:30

開会のあいさつ; 矢野昌裕

日本学術会議連携会員 / 食品産業技術総合研究機構・非常勤顧問

話題提供1: 種苗法の概要

大野善之 氏

農林水産省輸出・国際局知的財産課種苗室・次席審査官

話題提供2: 特性調査業務の概要

三國誉征 氏

農業・食品産業技術総合研究機構 種苗管理センター試験・検査部特性調査業務課

進行役: 矢野昌裕

磯部祥子 日本会議会員 / 東京大学農学生命科学研究科 教授

お申込みは下記

<https://forms.gle/JY55FmPdQ8mjEUET9>

お問い合わせ: 育種学分科会 担当 磯部 祥子

sisobe@g.ecc.u-tokyo.ac.jp

